事業番号⑤	事業シート(概要説明書)		令和7年度
事業名	備蓄品(非常食)の備蓄と有効活用		
予算事業名(細々目)	災害対策事業		
施策の大綱	6_安心して暮らせる安全なまち	事業開始年度	不明
施策体系	6-1_防災対策の推進	部名	総務部
主要施策	防災体制の整備	課名	総務管理課
根拠法令等	災害対策基本法、大月市地域防災計画	担当名	防災行革担当
事務区分	■自治事務 □法定受託事務	作成者	坂本隼人

○事務事業の計画

_	, ,,, , , , , , , , , , , , , , , , ,									
	実施の背景	災害対策基本法において、市町村は住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、地域防災計画を作成し、及び法令に基づきこれを実施する責務を有する。このことに伴い、災害応急対策 に必要な物資等の備蓄に努める。								
	目 的 (何をどうしたいのか)	1 備蓄品(非常食)の備蓄 ・大規模災害が発生すると交通網の寸断やライフラインの停止により、物流が麻痺し、食料確保が困難になる 懸念がある。こうした事態に備え、避難者に対し、最低限必要な食料を速やかに提供する。 2 備蓄品の有効活用 ・ローリングストック方式で備蓄品を入れ替えることで、賞味期限切れによる廃棄を減らすことができる。また、この入れ替えた備蓄品を自主防災組織に配布し、ご覧いただき、お使いいただくことで、備える意識を高める。								
	対 象 (誰・何を対象に)	災害における避難者(令和5年山梨県地震被害な 避難者数1,163人、帰宅困難者数1,758人	5 AL /	t数(全住民に対する割合) 21人 人 (13.8 %)						
		■直接実施								
	実施方法	□業務委託 又は □指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
	人 心力及	□補助金〔間接〕(補助先:	実施主任	本:)						
		□貸付(貸付先:)□その	他()						
			10 (/						
		事業内容(箇条書き)	事業費	活動指標						
事業概要	事業内容 ^(手段、手法など)	事業内容(箇条書き) 1 備蓄品(非常食)の備蓄 ・市内15カ所に設置する備蓄倉庫に備蓄品を分散し保管 ・ローリングストック方式により、毎年4ケ所入替えを実施 ・備蓄数量(非常食) ●飲料水/12、3200 ●アルファ化米/7、200食 ●乾パン/1、令和5年5月に公表された山梨県地震被害想定調査結果。 量見直し ●数量の比較 令和6年度まで / 避難者 1,139人+帰宅困難者 459、令和7年度から / 避難者 1,163人×3食×3日分+帰・その他取組み ●アレルギー対応等 アレルギー28品目対応の非常食を取り入れ、食物アレル食は炭水化物に偏りがちでビタミン、ミネラル、タンルため、より栄養価の高い非常食を取り入れる。 ●赤ちゃん防災の取組み 液体ミルク/72本 離乳食/5必要な栄養素や消化機能が大人と違うため、赤ちゃんり、2 備蓄品の有効活用 ・毎年、広報誌8月号へ掲載し、自主防災組織の防災訓練に	事業費 (※1ヶ所は倉庫が大きく。 (4年に1回の入替え) 920食 ●パン/2,880食 ●を受けて、令和7年度入をで受けて、令和7年度入をを受けて、令和7年度入をを受けて、令和7年度入をでした。 (1,598人×3食×3日を困難者 1,758人×1食 のうりので、食物繊維などのうりの食用の備蓄食料を備蓄する。	、2ケ所分を備蓄) ライスクッキー / 768食 替時から備蓄品(非常食)数 分 合計14,382食分 合計12,225食分 を行う。また、従来の非常 栄養素が不足しがちである						

○事務事業の取組

			令和	17 年	度(予	算)	令和	16 年	度(決算	I)	令和	15 年	度(決	:算)	令和	14 年	度(決	:算)
		事業費合計			2, 159	千円			2, 096	千円		1	, 850	千円		1	, 597 ·	千円
	<u></u>				支	出内	容			経費			支	出内	容			経費
	業	事業費内訳 (令和6年度 分)	消耗	品費	備蓄品(非常食)購入			2, 096								
	事業費																	
ス																		
۲																		
	ᅵᆺᅵ	正職員	0.02	人	136	千円	0.02	人	136	千円	0. 02	人	137	千円	0. 02	人	138	千円
	件	会計年度任用職員		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
	費	人件費合計	0. 02	人	136	千円	0. 02	人	136	千円	0. 02	人	137	円	0. 02	人	138	千円
		総事業費			2, 295	千円			2, 232	千円		•	, 987	千円		1	, 735	千円

		国県支出金		千円		千円		千円			千円	
Į		四示文田並	国県支出金の内容	\$								
	財源	地方債		千円		千円		千円			千円	
		 その他特財		千円		千円		千円			千円	
Į.	为訳	ての他特別	その他特財の内容	F								
		一般財源	2, 295	千円	2, 232	千円	1, 987	千円		1, 735	千円	
		財源合計	2, 295	千円	2, 232	千円	1, 987	千円		1, 735	千円	
			【活動指標名)	】(多	(実績値/目標値)		令和7 年度	令和	令和6 年度		令和5 年度	
			飲料水(避難者1人当	491日3	30×3日分)	リットル	10,467	10,251		10,251		
=		\	飲料水(帰宅困難者)	1人当り	J1日1&×1日分)	リットル	1,758	4,131		4,131		
事業実績	活動実績	米穀類(避難者1人当	491日3	3食×3日分)	食	10,467	10,251		10,251			
美績		米穀類(帰宅困難者	1人当り	J1日1食×1日分)	食	1,758	1,758 4,1		4,13	31		
			有効活用による備蓄	団体	団体	本 38	38 38		39			
	単位	単位当たりコスト 総事業費 / 対象者数					786	-	765	68	1	

○事務事業の評価

_	事務事業の評価												
=	成果目標 (指標設定理由等)	災害発生後の一定期間(3日間を想定)、住民に提供できるだけの食料を確保すること。 市における「公助」としての備蓄の他、有効活用により、住民一人ひとりの「自助」、自 主防災組織等の「共助」を促すこと。											
事業成		【成果指標名】(実績値/目標値)	単位	令和7 年度	令和6 年度	令和5 年度							
果		避難者数に対する備蓄日数	日	3	3	3							
	成果	ローリングストックの実施率	%	100	100	100							
	(目標達成状況)	備蓄品提供団体の活用率	%	100	100	100							
(life)	自己評価 課題 今後の方針 事業の有効性、効率性、必 要性の観点)	備蓄品(非常食)を備蓄する事業は、住民 不可欠な事業 有効活用の実施に伴う家庭や地域での備蓄 る。											
	比較参考値 (類似事業例など)	都 留 市:対象者数 2,107人 上野原市:対象者数約3,800人(内帰宅困難者数	女約2, 10		18,963食(3月 約35,000食(3月								
	特記事項												